

浄土真宗本願寺派 西光寺寺報

「阿弥陀さま不要の時代？」

慈光照護のもと、門信徒の皆さまにはますますご清祥にお念仏ご相続のことと慶賀に存じあげます。

先日NHKの『所さん！大変ですよ』を見ていたら、ちよつと前に話題になった『墓じまい』に続いて、最近では『仏壇じまい』が多くなっているという話題を取り上げていました。こうなると予想はしていましたが、とうとうきたか……という感じです。田舎の方では大きなお仏壇が多く、畳より大きいお仏壇も珍しくありません。そういうお家にお一人暮らしのご門徒さまもおられます。いつかその家が空き家になっても、すでに新しい家を建てられた子どもさんはこんなに大きなお仏壇をお迎えする余裕はどこにもありません。昔と違って、次の世代が同じ土地に住まないことが多く、たとえ近くであっても別に居を構えられることが増えたからでしょう。そして仏間(和室)がないという家さえも普通になりつつあります。そういうえば住職も『仏壇じまい』を年に

本願寺新報お盆特集号をお届けしております。ご家族でお読みください。

ひとつくらいはさせていただくように思います。そのときに、お家にはお仏壇はお迎えされますか？などとお聞きして、ご家庭に阿弥陀さまをお迎えしていただくようお奨めするのが住職の務めかと思いますが、気が小さいので聞けずにあります。興味のある方はヤフオクなどのオークションサイトで仏壇を検索してみてください。恐ろしいほどたくさん売られています。立派なお仏壇が驚くほど安いです。現実を突きつけられた気がします。

また、同じ番組で、お仏壇の『魂抜き』をしている大阪のお寺が登場しました。この辺でも一般的には『お精入れ』『お精抜き』などと言われていて、そのまんま使っている坊さんも多いのですが、私は必ずこう言わせていただいております。「私はお仏壇に『魂』を入れたり出したり、そんなすごいことはできません。浄土真宗では正式には『入仏法要』『遷仏法要』といって、仏さまをご安置します、よろしくお願ひします。また、こ



れまで有り難うございました。という意味の法要を行わせていただいています。」と。これをしなかつたから罰が当たるとか不吉なことが起こるなんてことはありません。みなさんそれを恐れていらつしやるのではないでしょうね？しかしあの大阪のお寺さんは「お仏壇には魂が宿っています」と真剣におっしゃってられました。その宗派ではそういうとらえ方なのでしょうか？それともそう言った方が法要が増えて……いや、邪推はやめましょう。

これも前のことですが、やはりNHKで「仏壇は先祖を祀り弔うもの」と言っていました。これを聞いて私は耳を疑いました。これが全国的な仏壇の理解なのでしょうか？ではなんのためにお仏壇にはご本尊がご安置されているのでしょうか？少なくとも浄土真宗のお仏壇は阿弥陀如来をご安置するものです。先立たれた方のお位牌などは本来はご安置しません。ただ、その地方の伝統や風習もありますので、私は何も申し上げませんが、これを読まれましたら、できたら他の宗教施設のお札などはお仏壇から出していただけたらと思います。気が小さいので直接言えなくてごめんなさい。ましてや宝くじなどをお供えしても当たりません！阿弥陀如来は私の願いを聞いてくださる仏さまではありません。私が願うはるか前から私をみそなわ

し、願っていただく仏さまです。私たちは阿弥陀さまの願いを「南無阿弥陀仏」と聞かせていただくのです。

阿弥陀如来の願いを聞かないのであれば、ご本尊やお仏壇がいららないという気持ちになるのも当然だと思います。何人かのご門徒さまからも「これまで両親や祖父母が大切にしてきた仏さまなので、私の代まではちゃんとさせてもらおう。でも、次の代はわからんよ。」というお言葉を聞いています。それはごもつともだと思いません。先のことには誰にもわかりませんし、西光寺も同じだと思えます。私のいなくなった後のことは、私が還暦を迎えたときに一度ご門徒さま全員にアンケートをとり、門徒総会を開いてご意見を伺いたいと思っています。このまま健康でいられるとは限らないので、意外に早くその時が訪れるかもしれない。お寺はご門徒のみなさんのものです。なので、みなさんのご納得のいくような解決策を見いだしていきたいと思えます。

阿弥陀如来は、私が望む望まないに関係なく、十劫じゅうくわの昔からすべての生きとし生けるものを救い摂ると働いておられます。私ごときが阿弥陀さんなんか必要ない!と思っても、阿弥陀さまは私をつかまえて離してはくたさらないのですから。

※劫 一辺四千里（現代中国の換算比で二 km。漢訳時大きくは違わない）の岩を

百年に一度布でなで、岩がすり減って完全になっても劫に満たない。これを磐石劫と呼ぶ。このたとえは落語『寿限無』にも「五劫のすり切れ」として登場する。(Wikipediaより)

「永代経が厳修されました」

去る六月十二日に当院の永代経法要&本納骨法要が厳修されました。遠近各地よりお昼のお座には十五名、夜のお座には三名のお参りでした。また、三十七名の方から御仏供米をお供えいただきました。有り難うございました。



「正信偈・仏説阿弥陀経」

以前にお正月の寺報とともに正信偈と仏説阿弥陀経の経段と解説を録音したCDをお分けさせていただきました。ご活用いただいていますでしょうか?今回、お持ちのスマートフォンからいつでも聴いていただけるようにQRコードを載せたいと思います。お経のファイルは住職のDropbox上にありますが、お持ちのスマートフォンにDropboxをインストールしていただいてもよろしいですし、そのままブラウザ上で再生していただいてもかまいません。いつでもどこでもお経に親しんでいただけると有り難いです。



正信偈行譜



仏説阿弥陀経



正信偈解説



阿弥陀経朗読

「重要なお知らせ」

まことに勝手なことですが、八月いっばいで住職の携帯電話の留守電機能を解約することになりました。留守電機能そのものが、留守電機能への転送料金が結構かかるのです。かかってきたお電話には気づいたらずぐにかけ直します。もし、どうしてもメッセージを残したいというときは、寺の固定電話におかけ直してください。またはメールでご連絡ください。SMS（電話番号を使ったショートメッセージ）はカケホーダイにしても別に料金がかかります。ご注意ください。

住職携帯 090-8667-7902

メール soichiro4989@gmail.com

ブログ 西光寺で最高時!